



TITLE:

<第20回健康科学市民公開講座> こころを映し出す遺伝子

AUTHOR(S):

六反, 一仁

CITATION:

六反, 一仁. <第20回健康科学市民公開講座> こころを映し出す遺伝子.
京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻紀要: 健康科学: health
science 2009, 5: 79-79

ISSUE DATE:

2009-03-31

URL:

<https://doi.org/10.14989/84783>

RIGHT:

第20回健康科学市民公開講座

こころを映し出す遺伝子

六 反 一 仁

「ストレス」は日本人に最も頻繁に使われている外来語です。この蔓延する「ストレス」を科学的に評価することが出来ますか？ ほとんどの医学者が答えられない質問だと思います。人が人として生きる上でストレスの対処は大変重要であり、様々な病気の原因にもなります。しかしながら、ストレスはともすれば現代医学の中でもゴミ箱のような扱いをされ、サイエンスとして認知されていないのが現状です。特に、日本ではその傾向が強く、医学者の中でも「ストレス」と言えば顔をしかめ「心の葛藤」などの表現をすれば興味を示すといった風潮にもなっています。

最近、これらの漠然としていた病的な状態を科学的にかつ客観的に計測する技術の開発が進んでいます。経済成長を通じて物質的な豊かさの追求から、より良い環境を重視して精神的な豊かさを求める時代を迎えています。健康や医療の分野でも同じような要求があるように思います。こうした社会の要求とは裏腹に、

自殺者は年間35,000人にのぼり、子供をめぐる環境が悪化の一途をたどり、凶悪犯罪が増加するなど、ヒトの心の荒廃が進んでいます。政府も「心の発達」、「心の病気」、「脳機能と教育」をライフサイエンスの主要研究テーマとして取り上げています。文部科学省や厚生労働省を通じて展開されている事業の目的は、従来の心理学や概念的な精神医学だけでなく、新しい生物学的手法を用いた研究を推進することを主眼に置いたものといえるでしょう。

本講演では、DNA チップを用いて「ストレス」を評価する研究の中から見いだしたこころを映し出す遺伝子の話をします。養育環境や社会環境がどのような遺伝子に影響を与えるのか、心理的ストレスがどのような遺伝子に影響を与えるのかについて紹介し、この新しい方法論が持つ可能性について説明したいと思っています。